



1. ごあいさつ
2. 前回の振り返り（説明）
3. 事例紹介（説明）
4. ワークショップの進め方、お約束について（説明）
5. グループワーク
6. グループ発表
7. 次回予告・なんでもアンケート

次回：第9回「地域の“チカラ”を育む」を考える～どんな風に参加する？～  
7月31日（土） 場所：土橋小学校 特別活動室

# あたらしい宮前市民館・ 図書館を考える ワークショップ

2021年 6月26日 (土)

第8回テーマ

「まちに飛び出す」を考える

# 本日のプログラム

①10:00~10:05 ②14:00~14:05	ごあいさつ (5分)
①10:05~10:10 ②14:05~14:10	前回の振り返り(5分)
①10:10~10:20 ②14:10~14:20	事例紹介(10分)
①10:20~10:25 ②14:20~14:25	ワークショップの進め方、お約束について(5分)
①10:25~11:30 ②14:25~15:30	グループワーク(65分) 「まちに飛び出す」を考える - 自己紹介 (5分) - 個人で意見出し (20分) - グループワーク (20分) - まとめ (20分)
①11:30~11:50 ②15:30~15:50	グループ発表(20分)
①11:50~12:00 ②15:50~16:00	次回予告・なんでもアンケート(10分)

# 1. 前回の振り返り

# 前回の振り返り

---

## 前回のテーマ 複合施設のメリットを活かした 取組を考えよう

複合施設のメリットを考慮した上で、  
各施設間で連携する事業にはどんなアイデアがあるか、  
そのためにどんな運営が求められるのか  
についてご意見をいただきました。

# 前回の振り返り

連携事業のアイデア	
組み合わせ	事業内容
<b>市民館</b>	
市民館（ホール）×図書館	・絵本などの朗読のワークショップ 取り扱った本のフェア
	・ホールでビブリオバトル
	・小学生向けのお話し会
市民館・図書館×花屋	・花屋、市民館・図書館でガーデニングや育て方を学び、マンションのエリアで花を育てる
市民館×塾	・勉強会
市民館×学校	・文化祭や合唱コンクール
ホール×広場	・小、中学生と高齢者の方の交流イベント（例：昔あそびなど）
	・演奏会や劇の発表
調理室×広場	・アウトドアクッキングスクール
商店街×広場×ホール	・さくらまつりや秋まつりを駅前広場やホールを使って開催する
<b>図書館</b>	
図書館×塾	・分からないところをすぐに聞くことができる（寺子屋的な）
図書館×カフェ	・コーヒーを飲みながら本、雑誌を読めるスペース
図書館×本屋	・同じテーマで本を紹介する
図書館×園芸	・植木や苗などの販売、ワークショップ 園芸の本のフェア
図書館×広場	・おはなし会を広場でやる
	・親子で読書を楽しむ
図書館×広場×駅	・駅から家に帰るまでのサードプレイス的な場所をつくる (勉強したり、本を読んだり、話したり)

# 前回の振り返り

連携事業に求められる運営	
種別	運営内容
<b>規則</b>	
本の持ち出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールでイベントがない時はホールで貸出手続き前の本を読めるようにする</li> <li>・商業エリアへの本の持ち出しの許可</li> <li>・広場への図書の持ち出しを許可</li> </ul>
開館時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の窓口を土日や夜も開く（商業エリアの営業時間を考慮） →図書館や市民館が夜のイベントにも対応</li> </ul>
利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き会議室等を自習室として活用できるようにする</li> </ul>
<b>組織・職員</b>	
運営組織・協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携のための連携協議会の設置</li> <li>・イベント協議会 行政・東急・商店街・町会（市民）</li> <li>・広場づくり委員会を設ける 子ども部会、中高生部会など</li> </ul>
人材（養成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館にも市民館にもコーディネーターを置いて、その人に相談すれば簡単に連携ができるようにする</li> </ul>
<b>広報</b>	
施設間連携（事業の広報）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所主催の事業の内容を図書館やホールで展示し、多くの人に知ってもらう</li> <li>・図書館・市・店 イベントチラシを活用し相互に広報</li> <li>・市民館・図書館の事業の宣伝用のポスターを駅や広場にはる</li> <li>・学校で市民館を宣伝</li> </ul>

## 2. 本日の検討テーマ



# 本日の検討テーマ

---

## 「まちに飛び出す」を考える

より多くの人に施設を知ってもらうには  
どうしたらよいでしょうか？

また、施設での活動をまちにひろげるには  
何をしたらよいかを考えてみましょう！

## 3. 宮前のまちについて

## 区の概要（2020年9月1日時点）

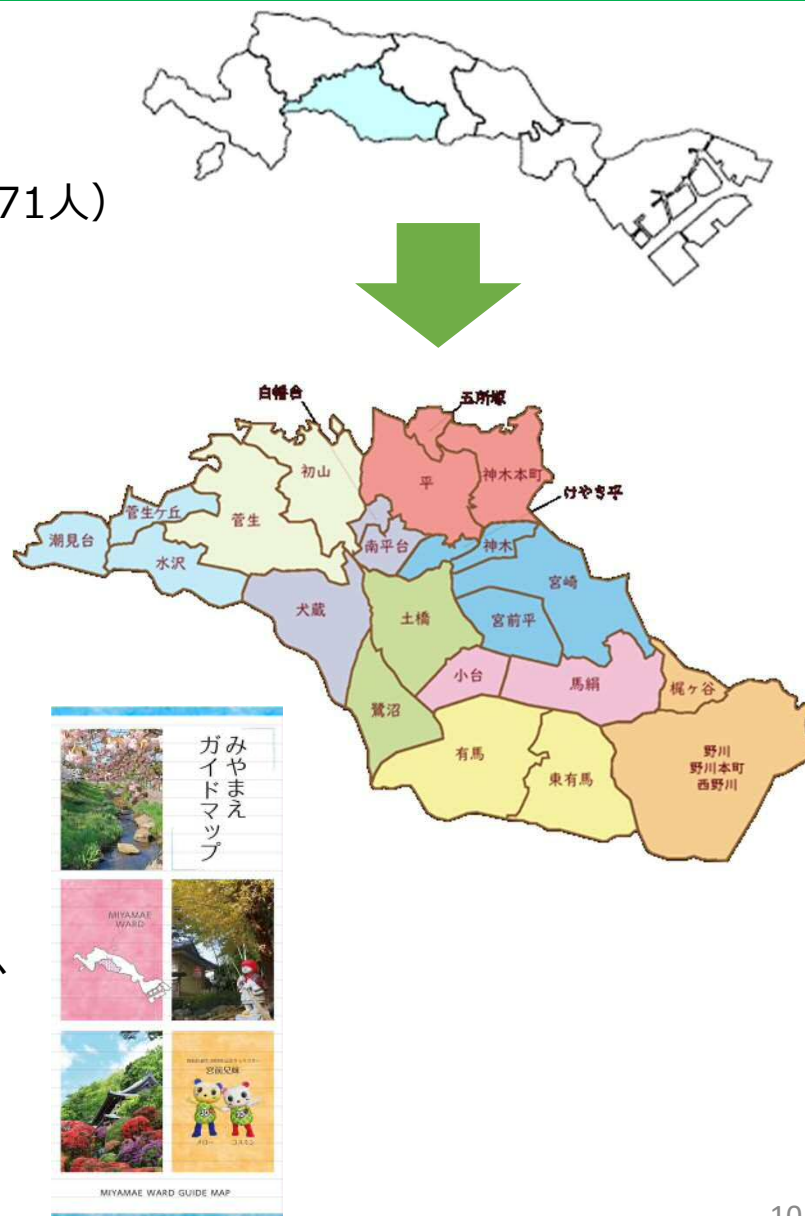
面積 **18.60**km<sup>2</sup>

人口 **233,980**人（男：114,109人、女：119,871人）

世帯数 **102,291**世帯

## 区の概況と特性

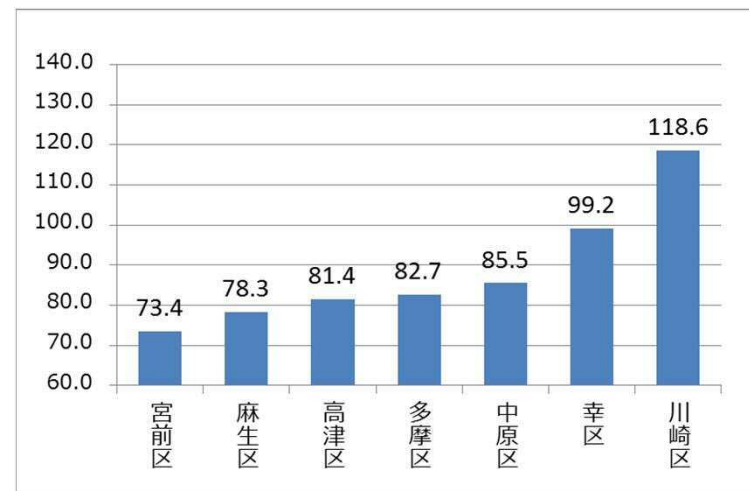
- 宮前区は、**川崎市の北西部に位置**し、古くから農村地域としての営みが行われてきた。
- 1966年の田園都市線の開通や1968年の東名高速道路の開通に伴う東名川崎インターチェンジの開設などにより**飛躍的に交通が発達**した。
- 都心から30km圏内にある**郊外住宅地として開発が進み、集合住宅の建設などが急増**した。
- 人口は**分区時の約15万人から増加の一途をたどり、近年は20万人を超えている**。
- 昼間人口と夜間人口との差は市内で最も大きく、郊外住宅地の特徴を表している**。
- 男女ともに平均寿命が全国第10位である。
- （参考）みやまえガイドマップ



## ● 地域への愛着や誇りを育むことが必要

- ・ 昼夜間人口比率が73.4%（平成27（2015）年国勢調査）と7区の中で最も低くなっている。多くの区民が区外を日常の生活圏としていることから、地域の魅力を知ること、地域への愛着や誇りを育むことが必要となっている。

昼夜間人口比率

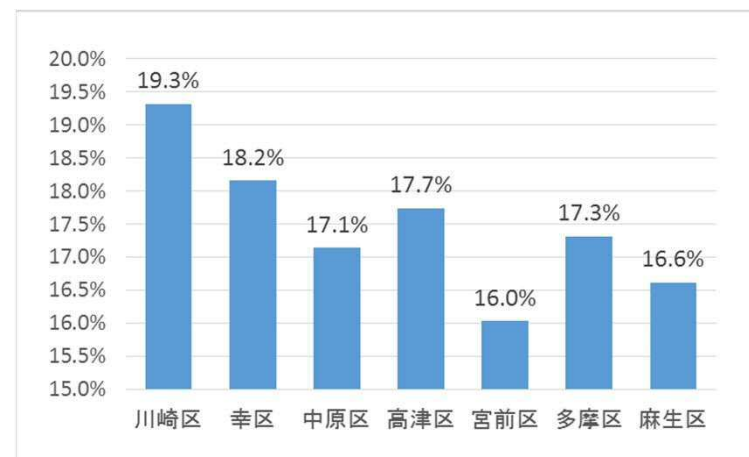


資料：平成27(2015)年国勢調査

## ● 「元気な高齢者が多いまち」という長所を維持する取組が必要

- ・ 区民の平均寿命について、男性が82.4歳、女性が88.4歳であり、男女とも全国10位（平成27（2015）年厚生労働省）で、要介護認定率が16.0%（平成29（2017）年健康福祉局）と市内で最も低いなど、元気な高齢者が多いまちである。急速に高齢化が進む中で、「元気な高齢者が多いまち」という長所を維持する取組が求められている。

区別の要介護認定率



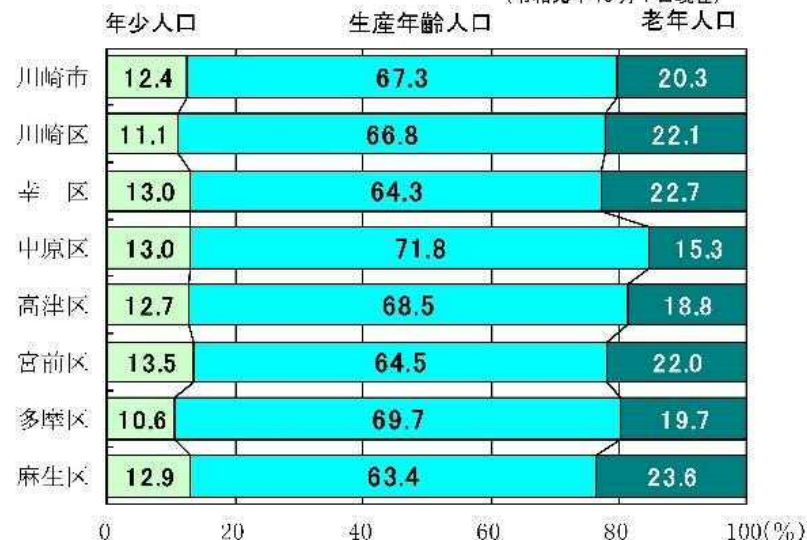
資料：健康福祉局資料  
（平成29(2017)年3月末現在）

## ●安心して子育てできる環境の整備が必要

- 区内の年少人口（0～14歳）割合は13.5%（令和元（2019）年10月）と7区の中で最も高く、転入も多い状況である。また、「夫婦と子」のみからなる世帯の比率は34.4%（平成27（2015）年国勢調査）と、こちらも7区の中で最も高く、区内には多くの核家族が暮らしている。
- そのため、慣れない土地で育児をする保護者も含め、すべての子育て世代が安心して子育てできるよう、様々な主体が連携して地域全体で子育てを支える環境を整備し、子ども・若者や保護者を支えることが必要である。

区別年齢3区分別人口の割合

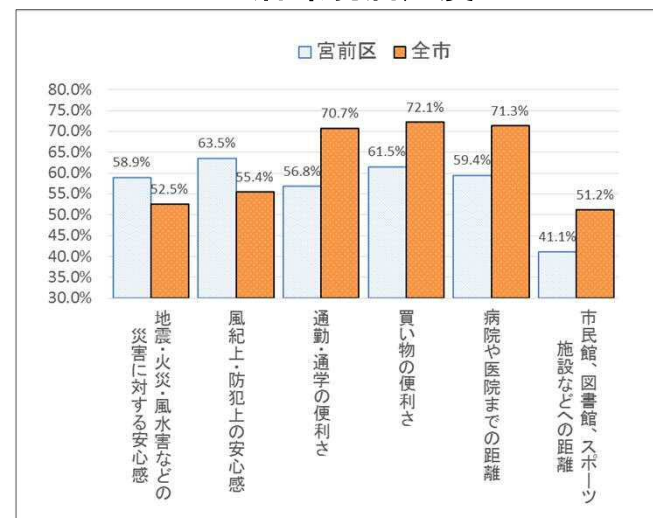
（令和元年10月1日現在）



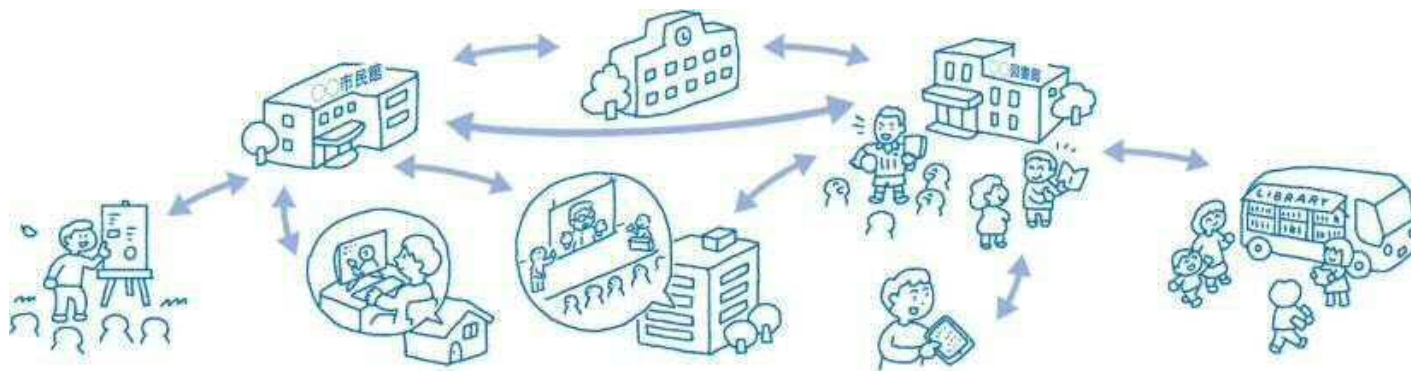
## ●快適なまちにしたいという区民の意識が高い

- かわさき市民アンケートでは、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」や「通勤・通学の便利さ」、「買い物の便利さ」など、利便性等への満足度が市全体の平均を下回っている。
- そのため、それぞれの地域での身近にスポーツや文化に親しめる環境づくりや、坂の多い地域の交通課題への対応をはじめとする生活環境向上など、区民と協働しながら、より快適に暮らせるまちづくりを進める必要がある。

生活環境満足度



市民館・図書館等の地域の公共施設や民間施設との連携、イベントやICTの活用などにより、これまで市民館・図書館を利用していなかった人や、距離や交通手段等の事情により施設を利用しづらい地域等での事業やサービスを展開し、まちに広がり、つながり、地域の誰もが身近に感じるような市民館・図書館となることをめざします。



資料：今後の市民館・図書館のあり方

## ● まちの資源を活かした取組の推進

主な取組	取組の内容
○地域の産業や自然、文化・文芸などの資源を活かした地域探訪・魅力発見型の事業の実施	地域愛を育む事業や現地見学、地域産業や郷土史を学ぶ講座の実施など、地域をフィールドにした事業展開を図り、地域に愛着を持ってもらえるような学級・講座等の充実を図ります。
○企業等と連携した産業に関する専門的知識・技術の学習や参加・体験型学習等の事業の実施	川崎の産業や先端技術等について学ぶ参加・体験型の事業の実施など、身近な地域の企業や工場、店舗、農園等に向いて学ぶ学習事業等の充実を図ります。
○地域で活動しているボランティアグループ等の地域団体と連携した体験型学習等の実施	地域活動への興味・関心を高め、学習活動の幅を広げていく機会として、地域で活躍している地域団体の活動を体験する学級・講座等の実施を検討します。

## 現宮前市民館の取組

# 宮前の魅力発見！ 写真を撮りに街へ出よう

まちに飛び出す



講義の様子(市撮影)



屋外での撮影会(市撮影)

- ・主催：川崎市教育委員会      ・費用：受講料無料
- ・対象：概ね50歳以上の基本的に全回出席できる方、20人(先着順)
- ・講師を呼び、撮影技術の基礎から学び、実際に宮前区へ写真を撮りに行く。
- ・撮影した写真を整理し、お気に入りの1枚を展示用パネルに仕上げる。
- ・撮影した写真は、宮前区まちづくり協議会主催の「フォトコンテスト」にエントリーする等、講座を次に繋げることができる取組。



# 現宮前図書館の取組

## 図書・資料のアウトリーチサービス

まちに飛び出す



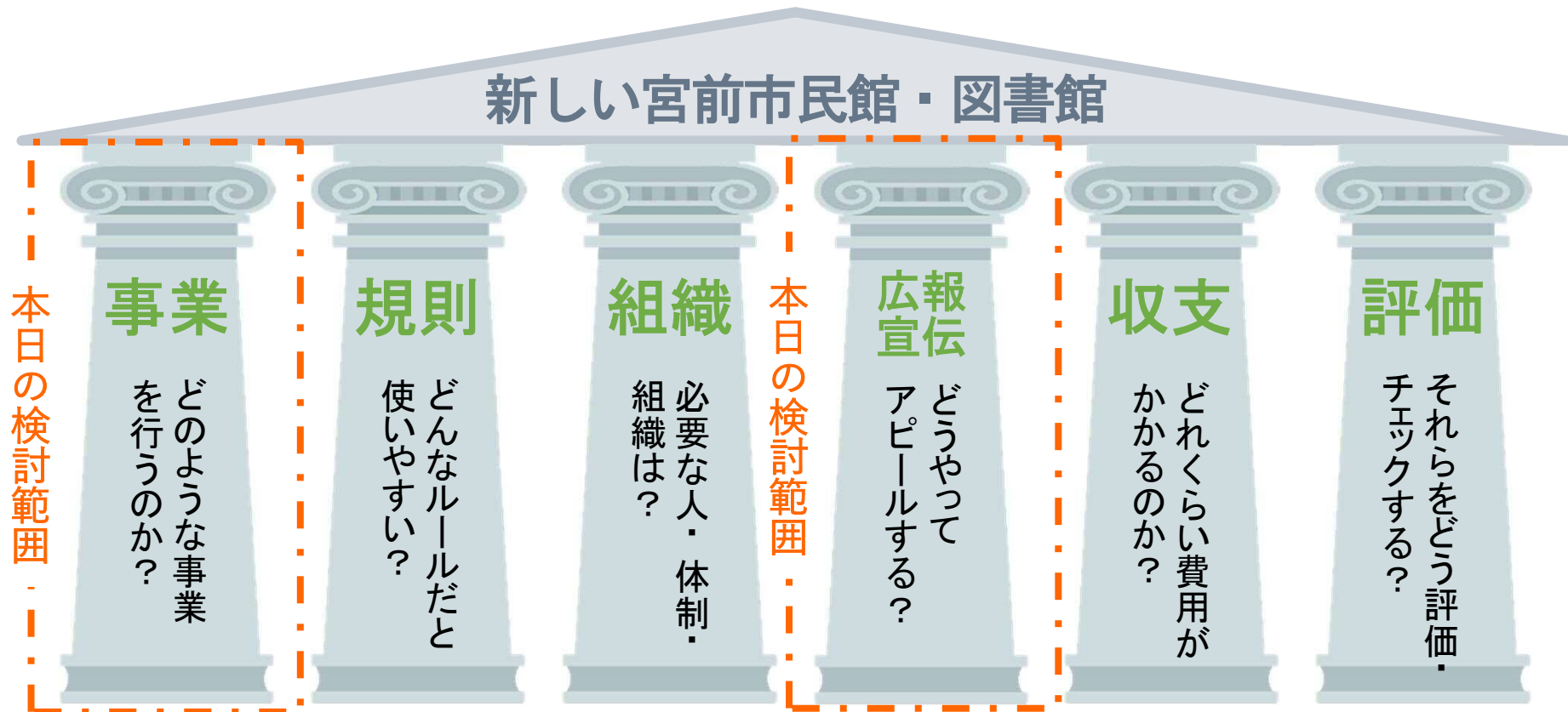
区主催の展示会(市撮影)

地域包括支援センター職員「おススメの本」ブックリスト		川崎市立 宮前図書館		
宮前図書館の常設コーナー「認知症の人にやさしい小さな本棚」に並んでいる本を中心に、地域包括支援センターの職員の方が選定!! 今回、その本をご紹介します。気になるタイトルの本がありましたら、図書館、又は図書館HPで予約をしてください。				
2021.6				
タイトル	著者表示	出版社	出版年	請求記号
1 必携!認知症の人にやさしいマンションガイド-多職種連携からみる高齢者の理解とコミュニケーション-	日本意思決定支援推進機構/監修	クリエイツかもがわ	2019.8	365.3 ㍻
2 あなたの「生き方・老い方」応援本-老いを学ぶ多摩市発ライフウェルネス・テキスト-	多摩市健康福祉部健康まちづくり推進室/編	多摩市	2017.11	367.7 ㍻
3 おばあちゃん、ぼくにはできることある?	ジェシカ・シェパード/さく おおびかゆうこ/やく	信成社	2019.9	369.2 ㍻
4 家族のためのユマニチュード-“その人らしさ”を取り戻す、優しい認知症ケア-	イヴ・ジネスト/著 ロゼット・マレスコッティ/著 本田美和子/著	誠文堂新光社	2018.8	369.2 ㍻
5 その人を中心にした認知症ケア-みんなで学ぼう-	長谷川和夫/共著 中村考一/共著	ばーそん書房	2016.5	369.2 ㍻
6 尊厳ある介護-「根拠あるケア」が認知症介護を変える-	里村佳子/著	岩波書店	2019.5	369.2 ㍻
7 認知症アクションガイドブック-ともに生きる未来をつくる(川崎市認知症ケアパス)-	川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室/編	川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室	2017.3	369.2 ㍻
8 一人でもだいじょうぶ 仕事を辞めずに介護する	おちとよこ/著	日本評論社	2017.9	369.2 ㍻
9 おもいでマガネ-認知症になったおばあちゃんと僕と家族の物語-	ないとうともあき/文 やまぐちかん/絵	主婦の友社	2019.8	493.7 ㍻
10 親の認知症に気づいたら読む本-離れて暮らしても大丈夫-	杉山孝博/監修 主婦の友社/編	主婦の友社	2019.8	493.7 ㍻
11 回想法と回想法-おしゃべりを楽しむ心療回想法で認知症予防-	小林幹児/著 日本回想法学会/監修	福村出版	2019.4	493.7 ㍻
12 記憶がなくなるその時まで-認知症になった私の観察ノート-	ゲルダ・サンダース/著 藤澤玲子/訳	新曜社	2019.3	493.7 ㍻
13 気持ちがあふれる認知症の家族との暮らし方	繁田雅弘/監修	池田書店	2018.6	493.7 ㍻
14 注文をまちがえる料理店-忘れちゃったけどまちがっちゃったけどまあいいか-	小国土朗/著	あさ出版	2017.11	493.7 ㍻

「おススメの本」ブックリスト(一部抜粋)

- ・宮前図書館の常設コーナー「認知症の人にやさしい小さな本棚」を、向丘出張所や区主催の介護の相談会などに出張展示。
- ・出張展示では、認知症関係の本の展示や地域包括支援センター職員「おすすめ本」ブックリストを配布。

# 再掲：「管理運営の6つの柱」



より多くの人に施設を知ってもらうにはどうしたらよいでしょうか？  
また、施設での活動をまちにひろげるには何をしたらよいかを  
考えてみましょう！

# 新しい宮前市民館・図書館に関する基本的な考え方の振り返り

---

## ●基本理念

**市民の力で成長し続ける、  
宮前区らしいスタイルの市民館・図書館**

～多様な人々が交流し、つながり、新たなコミュニティ・生活・文化・  
教養を創発し、地域への愛着を育む場づくりをめざして～

# 新しい宮前市民館・図書館に関する基本的な考え方の振り返り

## ●基本方針

### ①行きたくなる市民館・図書館

「誰もがいきやすい・参加しやすい」「また行ってみたい・参加したい」施設となることを目指す

### ②まちに飛び出す市民館・図書館

地域の誰もが身近に感じるような施設となることを目指す

### ③地域の“チカラ”を育む市民館・図書館

人づくり、つながりづくりを支える施設となることを目指す

### ④空間・機能が“融合”する市民館・図書館

学びや気づきのきっかけ、人々や活動の出会いとつながりの一層の創出、多様なニーズに対応したより効果的な事業・サービスの提供等を実現する施設となることを目指す

### ⑤区役所・民間等と“連携”する市民館・図書館

区役所との機能融合や区内公共施設との連携強化を図るなど、相乗効果を発揮することで、宮前区全体の新たな賑わいや交流の促進等に寄与する施設となることを目指す

## ●「基本理念」、「基本方針」に基づいて考えてみましょう！

# 本日の検討項目

---

- 「まちに飛び出す」を考える
  - ・ あたらしい施設を知ってもらうためのアイデア
  - ・ 施設での活動をまちにひろげるアイデア

## 4. 事例紹介

# あたらしい施設を知ってもらうためのアイデア

## 仮囲いツリーアート

(東大阪市文化創造館:大阪府東大阪市)

小学校との連携、  
広報宣伝



画像出典:週刊ひがしおおさか

- ・2019年9月開館の東大阪市文化創造館のプレイイベントとして実施。
- ・東大阪市の木「クスノキ」を中心に多くの市民が集う図を想像して、八戸の里小学校の子供たちに要素となる絵を書いてほしいと依頼。
- ・412枚の絵は、東大阪市内の会社に依頼し、スキャニングして木の周りに配置。

# あたらしい施設を知ってもらうためのアイデア

## ラッピング電車、フラッグ掲示、情報誌発行

(穂の国とよはし芸術劇場、あうるすぽっと、  
豊橋市まちなか図書館(仮称)、泉大津市立新図書館「シープラ」)

まちでの  
広報宣伝



ラッピング電車



駅、商店街でのフラッグ掲示



図書館情報誌



パンフレット

画像出典: 市HP



# 施設での活動をまちにひろげるアイデア

## ハレル・ワークショップ

### 「めぐるあるくストーリーと」

(岡山芸術創造劇場:岡山県岡山市)

まちでの  
プライベート



画像出典:岡山文化芸術創造財団HP

- ・2023年開館予定の岡山芸術創造劇場のプレ事業として実施。
- ・開館予定の劇場への道のりをアーティストと一緒に参加者と散歩し、写真を使って想像、お話をつくる街歩きワークショップ。
- ・そのようなお話を集めて、世界に一つの「お話岡山地図」を作成。

# 施設での活動をまちにひろげるアイデア

## まちじゅう図書館

(豊橋市まちなか図書館(仮称): 愛知県豊橋市)

近隣店舗・施設との連携



穂の国とよはし芸術劇場 プラット

エフエム豊橋スタジオブース



画像出典: 市HP

- ・基本理念に”新たな世界を発見し、まちづくりに繋げる知と交流の創造拠点”を掲げ、運営面では市民等が参画できる体制をつくり、市民が何度も行きたくなり末長く愛される施設を目指している。
- ・まちなかのお店や施設に本棚を置き、お店等にちなんだ本やスタッフの趣味の本などを揃えて、市民とスタッフまたは市民同士の本を通じた交流を楽しむプロジェクト。
- ・参加店舗・施設が、独自のセレクトによる本などを揃え、その場で読書をしたり、本を借りることができる。

## 施設での活動をまちにひろげるアイデア

### 「地域とつくる舞台」シリーズ

#### いたみ・まちなか劇場『味わう舞台Vol.2』

(AI・HALL(伊丹市立演劇ホール):兵庫県伊丹市)

アウトリーチ  
(民間施設)



10.3 | 木 | ①11:00 ②14:00 善竹忠亮

稲垣足穂『チョコレート』

概要：『チョコレート』を狂言の語り口で楽しむ朗読劇

会場：イタリア料理店



10.24 | 木 | ①13:00 ②19:00 北村成美

『しげやんと一献！ ころおどるテーブルひとつの宇宙』

概要：食事を楽しむテーブルで繰り広げられるダンスライブショー

会場：和食居酒屋



11.28 | 木 | ①13:00 ②19:00 隈本晃俊

『チンピラB』

概要：ベテラン俳優の悲哀を描いた、実体験に基づく笑い涙の一人芝居

会場：コミュニティカフェ



画像出典：施設HP

- ・アイホールの2008年度からの企画で、アーティストが、地域の人々と一緒に舞台作品を創作するプロジェクト。劇場と舞台芸術を核とした地域コミュニティ形成の第一歩となることを目指している。
- ・飲食店に演者が出向き、食事と公演を提供する。

## 施設での活動をまちにひろげるアイデア

# 「ピッケのつくるえほん」ワークショップ

(豊橋市中央図書館:愛知県豊橋市)

アウトリーチ  
(公営住宅)



画像出典:  
「ピッケのおうちブログ」

- ・豊橋市中央図書館のアウトリーチ事業。
- ・外国人住民が多い地域の公営住宅で、ポルトガル語と日本語の絵本の読み聞かせとピッケの絵本づくり(おはなしづくりソフトを使用した絵本づくり)を実施。
- ・日本語が得意でない外国の子供でもつくれる絵本の作成を通して、表現力を培う。

## 施設での活動をまちにひろげるアイデア

### おでかけアリオス

(いわき芸術文化交流館アリオス:福島県いわき市)

アウトリーチ  
(小中学校)



画像出典:施設HP

- ・アーティストと一緒に市内の小中学校を訪れ、本物の芸術に間近で接する機会を提供している事業。
- ・いわき市出身もしくは在住のアーティストといわきアリオススタッフが協議を重ねながら、オリジナルの「おでかけアリオス」プログラムを構築する研修プロジェクトを、2009年から立ち上げた。より子どもたちに寄り添い、地域の特色を取り入れた内容の「おでかけアリオス」を実施している。

# 5. 本日のグループワーク

# 「まちに飛び出す」を考える

---

## 本日のTO DO

- 1 あたらしい施設をより多くの人に知ってもらうためのアイデアを考えてみましょう！
- 2 施設での活動をまちにひろげるためのアイデアについて考えてみましょう！

### ★ポイント

自由な発想で、色々な側面から考えてみましょう！

# 「まちに飛び出す」を考える

 本日の作業イメージ

「まちに飛び出す」を考える

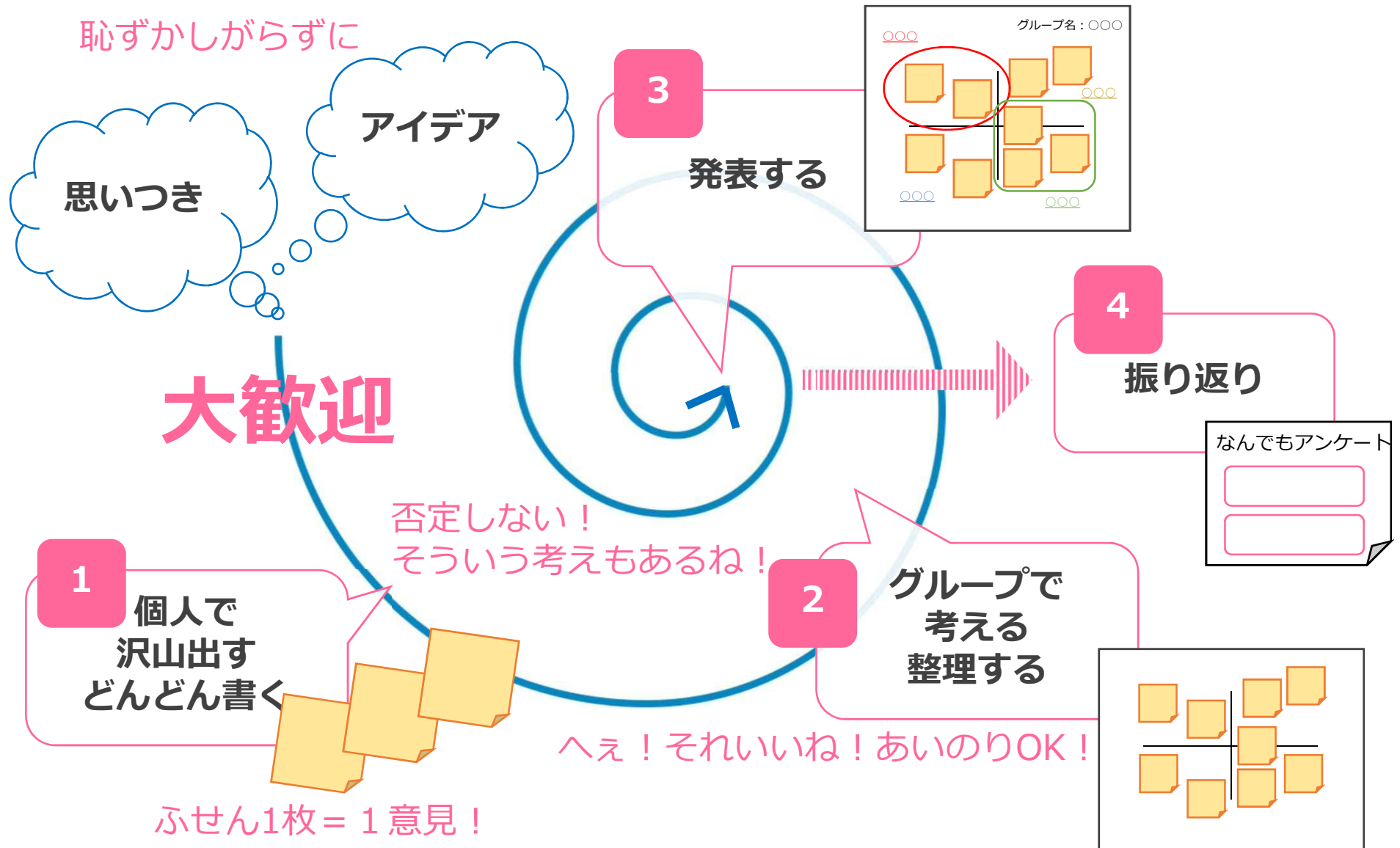
○施設を知ってもらうためのアイデア

○施設での活動をまちにひろげるためのアイデア



## 6. ワークショップの進め方、 お約束について

# ワークショップの流れ



# ワークショップのお約束

---

は

恥ずかしがらずに、  
どんどん書いてみる、出してみる。

ひ

否定しない！自分と違った意見も、それもあるね。

ふ

ふせん1枚に一意見。  
なるべく沢山、なるべく短く。

へ

へえ！それ、いいね！真似してOK！  
便乗して発想を広げる。

ほ

他の人・グループの意見を聴く、褒める。

# 感染拡大防止のためのお願い

---

- ご発言の際にマスクを外さないでください。
  - 話し合いの際、手を挙げてからお話してください。
  - 文房具などの共有、受け渡しは行わないでください。
  - 書き終わった付せんは、机の上の分かりやすい位置に置いてください。
  - お茶、飴、マスクなどは会場に捨てず、お持ち帰りください。（ご希望の方にゴミ袋をお渡しします）
  - 終了後、名札とアンケート、文房具などはご自分の席の前に置いたまま、ご退出ください。
- 
- 参加後に新型コロナウイルスの陽性となられた場合には、速やかに市にお知らせください。

# 7. グループ発表

## 8. 次回予告、 なんでもアンケート

# 今後の予定

回数	日付	テーマ
第1回	8月22日(土)	やりたいことを実現するための施設にするには？①
第2回	9月12日(土)	やりたいことを実現するための施設にするには？②
第3回	10月3日(土)	宮前区らしいスタイルの市民館・図書館を考える
第4回	11月7日(土)	「行きたくなる」を考える ～年間スケジュールを考えよう～
第5回	12月5日(土)	みんなのためのルールを考える①
第6回	4月17日(土)	みんなのためのルールを考える②
第7回	5月22日(土)	複合施設のメリットを活かした取組を考えよう
第8回	6月26日(土)	「まちに飛び出す」を考える
第9回	7月31日(土)	「地域の“チカラ”を育む」を考える ～どんな風に参加する？～



## 次回予告

# 「地域の“チカラ”を育む」を考える～どんな風に参加する？～

---

市民のみなさんがあたらしい施設と  
どのように関わっていきたいか**を考える！**

あたらしい施設と市民のみなさんはどのように関わりたい  
でしょうか？

自分だったらどんなことができるか、  
どんなことをしたら施設ににぎわいや交流が生まれるか、など  
様々な視点で考えてみましょう！



# お疲れ様でした！

---

## 最後に

本日の感想や言い足りなかったことなど、  
「**なんでもアンケート**」にご記入ください。

第8回 あたらしい宮前市民館・図書館を考えるワークショップ  
なんでもアンケート

お名前： \_\_\_\_\_

1. 本日の感想をどうぞ！

2. 言いそびれてしまったこと、今後の要望など、なんでもどうぞ！

ありがとうございました！